

活動プログラム展開案⑤<小学校>  
「友達のトラブルを解決する方法を考えよう」

◆本時のねらい

- ・友達のトラブルを解決する方法について考えることができる。

◆授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、児童の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。役割演技をするときは、児童の特性を踏まえて役割の順番を意図的に決めておく。
- ・本時の内容について配慮を要する児童がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。
- ・シナリオを事前に配り、自分の役割を確認させておくことが望ましい。

◆展開（本時で使用する【スライド1】～【スライド14】は、展開案の後に示しています。

なお、スライド資料を使用せずに、板書することも可能です。）

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
<p>1. 前時の学習について振り返る。 【2分】</p> <p>2. 本時のめあてを知る。 【2分】</p>	<p>【スライド1】【スライド2】 ○前の時間は、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。話し方のポイントを確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【話し方の方のポイント】</p> <p>① やさしく話す ② はっきりと話す ③ 自分の気持ちを伝える ④ 相手がなっとくするような提案をする</p> </div> <p>【スライド3】 ○これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りの感情や怒りへの対処法について学習しました。また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、トラブルにならないような聴き方、話し方について考え、練習をしました。</p> <p>【スライド4】 ○今日は、「友達2人の間でトラブルが起きたときにどのようにすればよいか」について学習していきます。</p>	<p>・【スライド1】は、授業前に提示しておく。前時の練習場面を想起させながら、スライドを見て話し方のポイントを押さえる。</p>
<p>【本時のめあて】 友達のトラブルを解決する方法を考えよう</p>		
<p>3. 動画を見て、トラブル解決のポイントを考える。 【8分】</p>	<p>○これから、トラブルを解決している動画を見てもらいます。</p> <p>【スライド5】 ○ろう下を走ったか走っていないかで、AさんとBさんがもめていて、それに気付いたCさんが2人の間に入って、トラブルを解決しようとしている場面です。</p>	
<p>【トラブルの場面】 ろう下を走ったか走っていないかで、AさんとBさんがもめています。それに気付</p>		

いたCさんが2人に声を掛けようとしています。

**【スライド6】【スライド7(動画)】**

○間に入るCさんが、どのようなことに気を付けてAさんとBさんのトラブルを解決しているのか考えながら見ましょう。

(動画視聴後)

○トラブルを解決している様子を見て、Cさんのどのようなところが良かったか、気付いたことを発表してください。

- ・ 解決するために、2人の間に入ってよいかを確認していた。
- ・ 2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させていた。
- ・ 2人の話を繰り返して確認しながら、交互に聴いていた。
- ・ ルールを決めていた。
- ・ 2人に考えさせていた。
- ・ お礼を言っていた。
- ・ うなずきながら聴いていた。
- ・ 顔を見て聴いていた。

○Cさんは、2人の言い分をしっかりと聴き、AさんとBさんで解決していく手助けをしていましたね。

○もし、Cさんが自分の考えや意見を途中で言ったとしたら、AさんとBさんはどのように思うでしょうか。

- ・ 勝手に決めてほしくない。
- ・ まだ、言いたいことがあったのに…。

○トラブルを解決するためには、間に入る人が自分の考えや意見を出さずに、もめている2人で解決に向かうようにしていくことが大切ですね。

**【スライド8】**

○トラブル解決のポイントをまとめてみましょう。

○トラブル解決のポイントは5つあります。

**【トラブル解決のポイント】**

- ① 2人の真ん中に立つ
  - ② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう
  - ③ 相手の話を最後まできくことを確認する
  - ④ 2人の言い分を確認しながら交互にきく
  - ⑤ 自分の考えや意見を出さない
- ※トラブルが解決しない場合は、大人に話す

・ Cが介入することでもめごとが終息していく変容を理解するために、全体を通して動画を流す。

・ どのようなところが良かったのか気付きを出し合いながら、トラブル解決のポイントを押さえる。また、トラブル解決のポイント以外のCの良いところも取り上げて、トラブル解決のポイントと区別して掲示する。

・ トラブルを解決するのは当事者であり、間に入るCは、両者の言い分をしっかりと聴き、冷静に解決に向かうように援助する立場であることを押さえる。

・ それぞれのポイントについて具体的にどのようにすればよいかを全体で確認する。

4. トラブル解決のポイントを確認する。  
【5分】

5. トラブル解決のポイントに気を付けながら練習する。  
【23分】

【スライド9(動画)】

○トラブル解決のポイントを意識しながら、もう一度見てみましょう。

【スライド10】

○これから練習を1回します。今日は1人1役だけです。練習するときの約束を確認します。

- ・ 恥ずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見つける

【スライド11】

○4人グループになり、「もめている役」(2人)と「間に入る役」、「見守る役」に分かれて練習します。

○今日は、先生が役割を決めます。時計回りに、グループの右前と右後ろの人が「もめている役」、左後ろの人が「間に入る役」、左前の人「見守る役」になります。

○「もめている役」と「間に入る役」の人は、役割カードを首に掛けて立って練習します。「もめている役」の2人は、少し間を空けて向き合います。「間に入る役」の人は、タイミングを計ってその間に入っていきます。

○「もめている役」と「間に入る役」の人は、演じたときの感じを覚えておきましょう。また、「見守る役」の人は、3人の様子をよく見ておきましょう。

○終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。練習の仕方は分かりましたか。

- ・ ワークシートと役割カードを配付し、練習シナリオを机に出させる。
- ・ シナリオの台詞が長い場合、練習をする前に自分の役割の台詞に線を引いたり全員で役割読みをしたりするなど、学級の実態に合わせて準備を行う。
- ・ 「もめている役」「間に入る役」「見守る役」の役割カードを首に掛けさせる。

- ・ 立ってロールプレイを行う。そのとき、「もめている」役の2人の立ち位置(赤テープ等)を決めておき、その間にCが入ってくるように指示する。

- ・ 役割から降りて、演じた役割や相手に対して抱いた感情を引きずらないように、一度気持ちを切り替えさせる。

【練習シナリオ】

A: ねえBさん。今、ろう下走ったでしょ。  
 B: は?何言ってるの?走ってないよ。  
 A: 走ってた。ちゃんと見たもん。  
 B: 絶対走ってない。出しゃばって。  
 C: ちょっと待って。何?どうしたの?なんかすごくもめているけど。  
 B: 私はろう下走ってないのに、Aさんが私が走ったって言うの。  
 A: 走ったことを走ったって言って、何が悪い。  
 C: 分かった、分かった。もめているんだよね、今。  
 A: うん。

B：うん。  
 C：じゃあ、そのもめていることを解決したいと思うんだけど、ちょっと話に入らせてもらっていいかな。  
 A：うん。  
 C：Bさんもいい？  
 B：うん、いいよ。  
 C：ありがとう。じゃあ、いっしょに解決していこう。  
 A：うん。  
 B：うん。  
 C：話をきかせてもらう前に1つ、相手の話を最後まできくというルールを守ってほしいんだけど。Aさん、できる？  
 A：がんばってみる。  
 C：Bさんは？  
 B：じゃあ、私もがんばる。  
 C：よし、じゃあ、このルールを守って、話をきかせてね。どっちから話をきこうかな。  
 A：じゃあ、私から言っていていい？  
 C：Bさん、Aさんから言ってもらっていいかな。  
 B：うん、いいよ。  
 C：じゃあ、お願いします。  
 A：私は、Bさんがろう下を走ったのを見たから注意したんだけど。  
 B：(話をさえぎるように…) 走ってません。  
 C：あっ、Bさん。Bさん、ちょっと待って。約束したルール覚えてる？相手の話を最後まできくんだっただよね。だから、ちょっとがまんしてくれるかな。  
 B：うん、そうだった。  
 C：その言いたかった気持ちとか、言いたかったことは覚えておいてね。次にBさんの番が回ってくるから、それまでちょっと待っててね。  
 B：うん、分かった。  
 C：Bさん、ありがとう。  
 B：うん。  
 C：じゃあ、Aさん。続きをお願いします。

6. 本時の学習を振り返る。

【5分】

【スライド12】

- 練習を振り返りましょう。  
 ワークシートに自分の役を演じたときの気持ちや見ていて気付いたことを書きましょう。

【スライド13】

- 書いたことをグループで交流しましょう。  
 ・もめている人の中に入るとき、勇気が必要だった。  
 ・もめている役をしたとき、交互に話を聴いてもらっているうちに、イライラが治まってきた。  
 ・Cさんが2人の真ん中に立つことができていた。もめている2人にとっては、Cさんの立つ場所は重要だと思った。

【スライド14】

- 今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。  
 ○今日の学習の気づきや感想を発表しましょう。

- ・グループで話し合うときに、それぞれの立場で演じたときの気持ちや全体を見たときの気づきを出させるようにする。
- ・授業者からのフィードバックを行う。

- ・ふりかえりシートを配付する。

- ・ふりかえりシートに

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「間に入る役」をしたら、「もめている役」の友達に何か言ってあげたくなったけど、がまんした。</li> <li>・Cさんの役は難しかったけど、Cさんのような入り方だったら、トラブルになりにくいと思った。</li> <li>・もめている友達を見掛けたら、私もCさんのように間に入って話を聴きたい。</li> </ul> <p>○動画を見てトラブル解決のポイントについて考えたり練習をしたりしましたが、今日の学習で分かったことやこれから頑張りたいことなどを紹介してください。</p> <p>○次の時間は、今日学習したポイントを使って、別のシナリオで練習します。自分たちでトラブルを解決できるように練習しましょう。</p>	<p>記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導をしながら児童が書いている内容を確認して、発表する児童がいない場合は、それを紹介してもよい。</li> <li>・次時の学習について知らせる。</li> </ul>
--	---	--

◆評価の視点


- ・友達のトラブルを解決する方法について考えることができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・児童の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における児童の様子を観察する。

板書計画(5時目)

**【めあて】友達のトラブルを解決する方法を考えよう**

【前時のふりかえり】	【スキルのポイント】	【練習するときの約束】	【役割と進め方】
 <p>※前時の学習で使用した資料などを提示します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 2人の真ん中に立つ</li> <li>② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう</li> <li>③ 相手の話を最後まできくことを確認する</li> <li>④ 2人の言い分を確認しながら交互にきく</li> <li>⑤ 自分の考えや意見を出さない</li> </ol> <p>※トラブルが解決しない場合は、大人に話す</p> <p>※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に児童からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はずかしがらない</li> <li>・冷やかさない</li> <li>・よいところを見つける</li> </ul> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">間に入る役</div> <div style="display: flex; gap: 20px; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">Aさん</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">Bさん</div> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">見守る役</div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 役割えんぎをする</li> <li>② 役割カードを外し、互いに拍手をして席にもどる</li> <li>③ ワークシートに気持ちや気づきを書く</li> <li>④ グループで交流する</li> </ol> <p style="text-align: center; font-size: small;">※練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり相互評価のやり方の説明を板書したりします。</p>

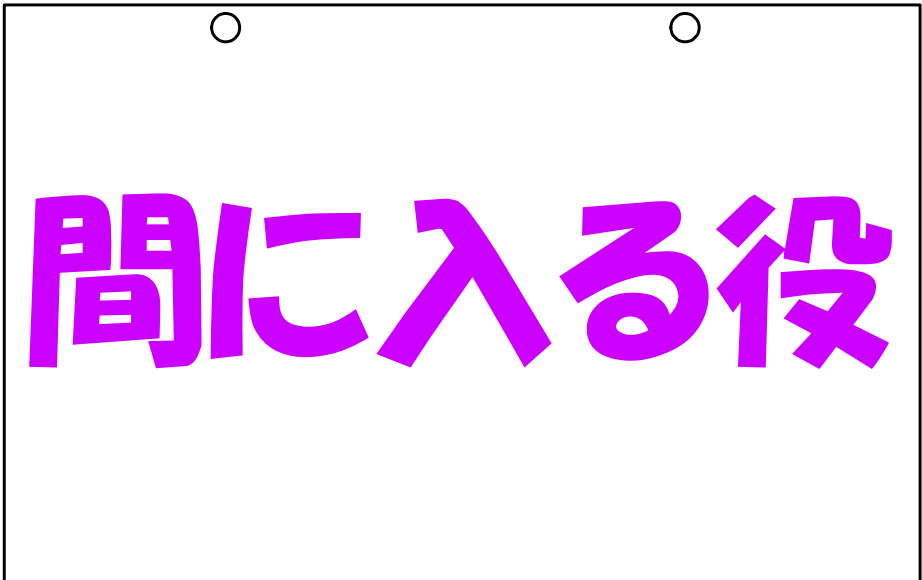
【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



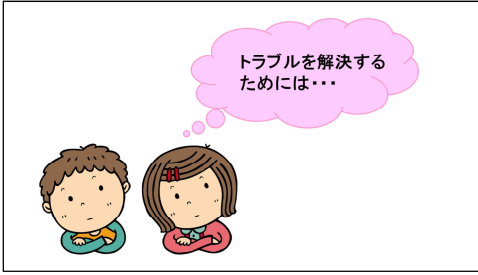
【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

### 【スライド1】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】  
 (●印のとき、アニメーションを動かす)

### 【スライド2】

トラブルにならないような話し方のポイント

- ① やさしく話す
- ② はっきりと話す
- ③ 自分の気持ちを伝える
- ④ 相手がなっとくするような提案をする

「2回連続でかたづけるのがいやだから、今日はかたづけてもらっていい？」  
 「じゃあ、今日はほくがかたづけるから、次は2回連続でかたづけてくれる？」

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、「トラブルにならないような話し方」について学習しました。話し方のポイントを確認します。

- ① やさしく話す
- ② はっきりと話す
- ③ 自分の気持ちを伝える
- ④ 相手がなっとくするような提案をする

でしたね。

### 【スライド3】

休み時間に2人がもめています **トラブルの場面**

今、ろう下走っていたでしょ?!

Aさん

Bさん

は?何言ってるの? 走ってないよ。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これまで、「トラブルはなぜ起きるのか」ということで、怒りの感情や怒りへの対処法について学習しました。

また、「トラブルが起きないようにするためにはどのようにすればよいか」ということで、トラブルにならないような聞き方、話し方について考え、練習をしました。

### 【スライド4】

今日のめあて

友達のトラブルを解決する方法を考えよう

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、「友達2人の間でトラブルが起きたときどのようにすればよいか」について学習していきます。

これから、トラブルを解決している動画を見てもらいます。

## 【スライド5】

## 【トラブルの場面】

ろう下を走ったか走っていないかで、AさんとBさんがもめています。それに気づいたCさんが2人に声をかけようとしています。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

ろう下を走ったか走っていないかで、AさんとBさんがもめていて、それに気付いたCさんが2人の間に入って、トラブルを解決しようとしている場面です。

## 【スライド6】

休み時間に2人がもめています **トラブルの場面**

今、ろう下走っていたでしょ？！

は？何言ってるの？走ってないよ。

Bさん Aさん

Cさん

Cさんがどのようなことに気をつけて、トラブルを解決しているのかを考えましょう

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

Aさんは、Bさんに「ろう下を走ったでしょ！」と注意しています。でもBさんは「走ってないよ。」と言っています。2人の言い分が違うため、もめていますね。それに気付いたCさんが2人の間に入りました。

間に入るCさんが、どのようなことに気をつけてAさんとBさんのトラブルを解決しているのか考えながら見ましょう。

## 【スライド7(動画①)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(動画視聴後)

トラブルを解決している様子を見て、Cさんのどのようなところが良かったか、気付いたことを発表してください。

- ・解決するために、2人の間に入って良いかを確認していた。
- ・2人に、相手の話を最後まで聴くことを約束させていた。
- ・2人の話を繰り返して確認しながら、交互に聴いていた。
- ・ルールを決めていた。
- ・2人に考えさせていた。
- ・お礼を言っていた。
- ・うなずきながら聴いていた。
- ・顔を見て聴いていた。

Cさんは、2人の言い分をしっかりと聴き、AさんとBさんとで解決していく手助けをしていましたね。

もし、Cさんが自分の考えや意見を途中で言ったとしたら、AさんとBさんはどのように思うでしょうか。

- ・勝手に決めてほしくない。
- ・まだ、言いたいことがあったのに…。

トラブルを解決するためには、間に入る人が自分の考えや意見を出さずに、もめている2人で解決に向かうようにしていくことが大切ですね。

## 【スライド8】

**トラブル解決のポイント**

- ① 2人の真ん中に立つ
- ② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう
- ③ 相手の話を最後まで大きく確認する
- ④ 2人の言い分を確認しながら交互に大きく
- ⑤ 自分の考えや意見を出さない

※トラブルが解決しない場合は、大人に話す

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブル解決のポイントをまとめてみましょう。トラブル解決のポイントは5つあります。

- ① 2人の真ん中に立つ
- ② トラブルを解決するために、間に入ってよいか2人にOKをもらう
- ③ 相手の話を最後まで大きく確認する
- ④ 2人の言い分を確認しながら交互に大きく
- ⑤ 自分の考えや意見を出さない

です。

それでもトラブルが解決しない場合は、大人に話します。



## 【スライド9(動画②)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

トラブル解決のポイントを意識しながら、もう一度見てみましょう。

## 【スライド10】

## 【練習するときの約束】

- ・ はずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見つける

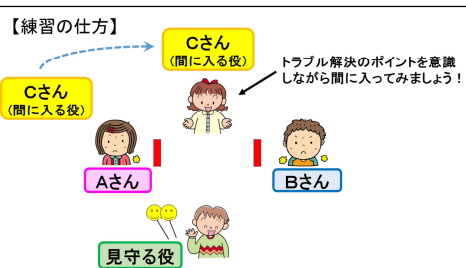
【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これから練習を1回します。今日は1人1役だけです。練習するときの約束を確認します。

- ・ はずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ 良いところを見付ける

です。

## 【スライド11】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

4人グループになり、「もめている役」2人と「間に入る役」、「見守る役」に分かれて練習します。

今日は、先生が役割を決めます。時計回りに、グループの右前と右後ろの人が「もめている役」、左後ろの人が「間に入る役」、左前の人「見守る役」になります。

(ワークシートと役割カードをグループごとにセットで配る。練習シナリオを出させる) 「もめている役」と「間に入る役」の人は、役割カードを首に掛けて立って練習します。「もめている役」の2人は、少し間を空けて向き合います。「間に入る役」の人は、タイミングを計ってその間に入っていきます。

「もめている役」と「間に入る役」の人は、演じたときの感じを覚えておきましょう。また、「見守る役」の人は、3人の様子をよく見ておきましょう。

終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。練習の仕方は分かりましたか。

## 【スライド12】

ワークシートに自分の役を演じたときの気持ちや見ていて気づいたことを書きましょう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習を振り返りましょう。

ワークシートに自分の役を演じたときの気持ちや見ていて気付いたことを書きましょう。

## 【スライド13】



## 【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

- 書いたことをグループで交流しましょう。
- ・もめている人の中に入るとき、勇気が必要だった。
  - ・もめている役をしたとき、交互に話を聞いてもらっているうちに、イライラが治まってきた。
  - ・Cさんが2人の真ん中に立つことができていた。もめている2人にとっては、Cさんの立つ場所は重要だと思った。

## 【スライド14】



## 【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。

今日の学習の気づきや感想を発表しましょう。

- ・「間に入る役」をしたら、「もめている役」の友達に何か言ってあげたくなったけど、がまんした。
- ・Cさんの役は難しかったけど、Cさんのような入り方だったら、トラブルになりにくいと思った。
- ・もめている友達を見掛けたら、私もCさんのように間に入って話を聴きたい。

動画を見てトラブル解決のポイントについて考えたり練習をしたりしましたが、今日の学習で分かったことやこれから頑張りたいことなどを紹介してください。

次の時間は、今日学習したポイントを使って、別のシナリオで練習します。自分たちでトラブルを解決できるように練習しましょう。